

情報解禁 1月15日(水)午後4時

情報解禁の厳守にご協力をお願いします。 ※主催者発表(表彰式)と合わせるため

大船渡市 プレスリリース

定例記者会見資料
令和7年1月15日(水)
担当：企画政策部デジタル戦略課
DX推進係（内線210）

いわてデジタルトランスフォーメーション大賞 2024 における 優秀賞の受賞について

1 経緯等

いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議（事務局：岩手県ふるさと振興部科学・情報政策室）では、岩手県内の企業・各種団体のDXにつながる取組事例を広く募集し、優良事例を表彰するとともに、その事例を広く紹介することにより、デジタル化に関する取組の更なる普及を図り、DX推進に寄与することを目的として、表彰を実施しています（右の募集チラシ参照）。

2 市の応募及び選考結果等

(1) 選考結果等

先般、当市の取組として「DXを通じた人材育成～デジタル創生研究プロジェクト・チームとDX人材育成塾 2024～」を応募したところ、いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議より、次のとおり選考結果の内示がありました。

〔選考結果〕 **優秀賞**

※優秀賞は大賞に次ぐもの。応募総数等は非公表。

(2) 審査

DXに関する有識者で構成する選考委員会が、次の基準により審査を行ったものです。

- ア 取組による効果
- イ 創意工夫や先進性
- ウ 他事業等への波及の可能性や地域活性化への期待
- エ その他（上記以外で特に評価すべき視点）

3 表彰式及び選考結果の公表

表彰式は、岩手県知事出席の下、次のとおり開催される予定です。選考結果は表彰式での発

表まで非公表とされていることから、1月15日（水）午後4時、情報解禁とします。

また、応募内容や個別の講評は、表彰式以降に県ホームページに掲載される予定です。

日 時：令和7年1月15日（水） 午後4時～5時15分

場 所：ホテルニューカリーナ（盛岡市）

市からの出席者：デジタル戦略課職員（デジタル創生研究プロジェクト・チームメンバー）

▽県ホームページ▽

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/jouhouka/1053777/1055840/1066537.html>

4 当市の応募内容 ※抜粋



おおふなと版窓口改革（DX）の導入により実現を目指すこと

■目指すところ！

・窓口改革（DX）は、当市行政DXのリーディングプロジェクトとして位置付け、関係課が多岐にわたり、トランスフォーメーションの波及効果が広範囲に！

・これにより、行政改革を促し、行政評価や事務事業等の見直しなど、行政DXの推進力として全庁展開し、地域全体のDX推進も見据えて取り組み。

⇒D(デジタル)導入の目的化ではなく、X(トランスフォーメーション)の展開による「人口減少下における持続可能な行政経営の確立」への寄与

⇒アップデートを繰り返し、体質改善による行政経営の強化・安定化へ！

■「苦かない×ワンストップ窓口」を導入し、順次、対象業務を拡大へ！

【将来の到達点と手順】／ワンストップ化＝定型的で件数が多いものを中心に、将来的に8割程度をワンストップ対象。トライ＆エラーを重ねながら、段階的に拡大するという「スモールスタート」。

・総合行政情報システムの更新に合わせ、R5交付金では「苦かない×ワンストップ窓口」を実施→大船渡市デジタル田園都市国家構想総合戦略のプロジェクトに位置付け→地域再生計画の認定→R6以降、実施していない機能は企業版ふるさと納税を活用して段階的に拡大。

・R6は「行かない窓口」＋市ホームページ更新＋市公共施設予約システム更新について、デジ田申請を目指す方向。

22

これまでの取組／デジタル推進アドバイザーの新設等

・令和4年度補正のデジタル交付金について、2事業の採択を受けたが、事業担当課からの発案ではなかったため、制度の理解促進や外部人材の活用によるDX推進の必要性を痛感。

・令和4年7月、デジタル社会に対応する人材の育成やデジタル技術の活用を推進するため、ソフトバンク株式会社の参入を「大船渡市デジタル推進アドバイザー」として委嘱。

・アドバイザーからの助言を受けて、総務省地域情報化アドバイザーを紹介してもらい、令和4～5年度、市民・事業者向け、市幹部職員向け、実務担当者向けセミナーを開催。

▲「デジタル推進アドバイザー」▲

▲「デジタル推進アドバイザー」による指導の様子▲

4

おおふなと版窓口改革（DX）推進の先にあるもの…

「我々は何を目標とするのか？」

▼当市で「being good」なデジタル社会の実現を目指す

幸福さを求める社会から幸福を目指す社会への転換と対応～well-beingの向上～

デジタルの力で市民・事業者

・行政(市役所)の幸福度UP

～課題解決と魅力向上の取組を加速化～

行政DXにより…

・余力時間を作り出し、本来行政が行うべき業務に充てる！

⇒生み出される新たな価値：デジタル化による生産性の向上

⇒創出されたリソースは、政策立案や「稼ぐ」施策など、付加価値を高める取組に投資

⇒縮小社会に見合った職員数を前提とした運営

▼「デジタル活用を促せる上での理念」「二刀よし」

住民
Well-Being 向上
行政
事業者

33

これまでの取組／プロジェクト・チームの新設

・令和4年9月、地域課題の解決に向けたデジタル技術の活用及びデジタルに係る取組の推進に寄与するため、デジタルネイティブ世代を中心として、庁内各部署から指名した20人に、部長、副部長を加えた22人で構成する「大船渡市デジタル創生研究プロジェクト・チーム」(PT)を設置。部署間に横断を利して研究を進め、ボトムアップにより、市のデジタル活用を発案・先導するチームとして位置付け。

・月1回のグループワーク、タブレットを貸与した上でのslackの活用、商工会議所会員との意見交換、先進地視察等も実施。

▲デジタル創生研究プロジェクト・チームメンバーの初顔合わせ▲

▲令和4年12月、マスコットキャラクター「デジタロ」の誕生▲

▲令和4年12月、マスコットキャラクター「デジタロ」の誕生▲

5

DXの推進により目指すところ…

▼プロジェクト・チーム会議で提案・紹介のあったキャッチフレーズ▼

行けばDX

しろう。そうだ、

～DXは殊と呼ぶのにふさわしい～
(ジャーニー)

DXはほろ！DXでやろうぜ！

企業版ふるさと納税

個人版ふるさと納税

大船渡市

34

5 参考／過去の表彰状況

(1) いわてデジタルトランスフォーメーション大賞 2023 の表彰状況

- ・大賞／株式会社 西部開発農産（北上市：営農・生産管理システムの高度利用で農業を変える～営農情報の活用を通じたD Xの取組～）
- ・優秀賞／株式会社 長島製作所（一関市：岩手初！ものづくり企業が取り組むデジタル人材の育成スキーム）
- ・企業連携賞／プロフェクト株式会社（花巻市：中小製造業の中小製造業による生産管理システムだから実現するD X）
- ・官民協働・連携賞／北上市（北上市こども療育ネットワーク）

(2) 市内の企業等の表彰状況

市内の企業等では、株式会社 菊池技研コンサルタント(現 株式会社アースデザインコンサルタンツ)が「R P A等を活用した定型業務の効率化・自動化の実現」の取組で、いわてデジタルトランスフォーメーション大賞 2022 の優秀賞を受賞しています。



▲いわてD X大賞 2023 表彰式の様子▲